



新しい年を迎えて 事務局長 柴原 和美

沖縄に学び「諦めない」のこころざしを高く・広く・強い運動にしよう

新年おめでとうございます。

私たちは、昨年の総選挙で野党共闘で政権交代の実現を目指しました。しかし、危機感を持った自公政権は激しい野党共闘攻撃をおこない、結果的に政権交代は実現できませんでした。これまでも、私たちは権力の前に、何度も悔しい思いをしてきました。そして「嵐」や「風雨」が強ければ、それに抗する力を身につけてきました。そういう経験を何度もしてきました。

政権交代に一度失敗したからといって、諦める必要はありません。沖縄

の人たちは、辺野古新基地工事が強行されても、諦めずに粘り強く運動を続けているではありませんか。私たちは、沖縄の人たちを激励・応援しているつもりですが、実は沖縄の人たちから「絶対諦めるな」と激励されているような気がします。

その沖縄で、辺野古新基地建設を争点に、地元の名護市長選挙が1月23日におこなわれます。そして、

沖縄県知事選挙もおこなわれます。

政権側は、辺野古の新基地建設を進めるために総力をあげて向かってきます。それに打ち勝つために頑張っている沖縄の人たちに連帯の気持ちを届けましょう。



60年周年記念誌発行「記念講演会」

「アメリカの対中軍事戦略」と 安保体制がはらむ危機

～憲法9条で軍事紛争を止める日本の役割～

- と き **1月29日(土)**
14時～16時
- ところ **地場産センター** (金沢市鞍月) **2F**
- 講師 ジャーナリスト **布施 裕仁**さん

※会場での参加費500円。ZOOM視聴は無料。ZOOMを希望される方は事務局までご連絡ください。TEL 090-2837-8105。メール k-shiba@outlook.jp

【講師のプロフィール】前日本平和委員会「平和新聞」編集長。自衛隊が南スーダン派遣部隊が作成した日報について、2010年9月30日防衛省に情報開示請求を行ったが「文書不存在によって不開示」とされ、ツイッターで疑問を示したことから防衛省日報問題が表面化するキッカケをつくった。

「旗を掲げて60年」発行



石川県平和委員会は、昨年11月に創立60年を迎えました。これを記念して冊子「～憲法・基地・核廃絶・安保～旗を掲げて60年」を発行（A4版31ページ）しました。

主な内容は歴代事務局長の座談会と年譜。県下平和運動の歴史を振り返り、今後の運動に生かしていただければ幸いです。

代表理事 内藤 晴一郎、日谷 守、山野 健治。(ウラにつづく)